

## 安全データシート(SDS)

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:ボンHBサーフェーサーR(W)

種類:合成樹脂エマルジョン塗料

製造会社

会社名:AGCコーテック株式会社

住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門:研究・開発センター 品質・環境グループ 江澤 孝行

電話番号:03-5217-5104

FAX番号:03-5280-0028

緊急連絡電話番号:03-5217-5104

整理番号:3020400114201

用途:建築用、その他

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性:

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) :区分外2

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:警告

危険有害性情報:

- ・臓器の障害のおそれ

注意書き:

安全対策:

- ・使用前にSDSを入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・指定された材料以外のものと混合しないこと。
- ・容器からこぼれた場合は、砂などを散布したのち処理すること。
- ・本来の用途以外に使用しないこと。

応急措置:

- ・皮膚等に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、気分が悪い時:医師の診断、手当を受けること。

保管:

- ・容器を密閉し、涼しく換気の良いところで、施錠して保管すること。
- ・子供の手の届かないところに保管すること。

廃棄:

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分:混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法:該当せず

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
エチレングリコール	107-21-1	<2.0	○	-	
鉱油	非公開/不明	0.38	○	-	
酸化チタン	13463-67-7	<5.0	○	-	

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合:

- ・ 付着物を清浄な乾いた布にて素早く拭き取る。
- ・ 溶剤、シンナーを使用してはならない。
- ・ 多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激、痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

目に入った場合:

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
- ・ 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

- ・ 嘔吐物を飲み込ませてはならない。
- ・ 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
- ・ 負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護

- ・ 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- ・ 適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

- ・ 緊急の特別処置などを講ずる。

5. 火災時の措置

消火剤:この製品自体は燃焼しない。

特有な消化方法:

- ・ 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・ 適切な保護具を着用する。
- ・ 作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項:

- ・ 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法/機材:

- ・ 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
- ・ 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策

- ・ 回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件:

適切な保管条件

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

避けるべき保管条件

- ・日光から遮断すること。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具:

呼吸用保護具:

- ・呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具:

- ・保護手袋を着用する。

眼の保護具:

- ・保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具:

- ・保護衣を着用する。

衛生対策

- ・取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

管理濃度/許容濃度:

化学物質名	暴露管理基準ppm	暴露管理基準mg/m <sup>3</sup>	skin
エチレングリコール	-	-	-
鉱油	-	-	-
酸化チタン	-	-	-
化学物質名	日本産業衛生学会 ppm	日本産業衛生学会 mg/m <sup>3</sup>	skin
エチレングリコール	-	-	-
鉱油	-	-	-
酸化チタン	-	0.3	-
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m <sup>3</sup>	skin
エチレングリコール	25	-	-
鉱油	-	-	-
酸化チタン	-	10	-
化学物質名	IARC	STEL_TWA ppm	
エチレングリコール	-	50	
鉱油	-	-	
酸化チタン	2B	-	

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 液体
色	: 白色
臭い	: 僅かアクリル臭
pH	: 7.5~9.5
融点/凝固点	:
沸点、初留点、沸騰範囲	: [°C]
引火点	: [°C]
自然発火温度(発火点)	: [°C]
燃焼性(個体、ガス)	:
燃焼または爆発範囲の上限/下限	: [vol %] / [vol %]
蒸気圧	: [Pa] ( [°C])
蒸気密度	:
蒸発速度	:
比重(相対密度)	: 1.5~1.6 g/cm <sup>3</sup>
溶解度	:
水に対する溶解度	:

水に対する溶解性	:	
溶媒に対する溶解度	:	
溶媒に対する溶解性	:	
n-オクタノール／水分配係数	:	
分解温度	:	[°C]

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

- ・ 安定である。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性:

#### エチレングリコール

LD50	(経口)	6140 mg/kg
LC50	(吸入／蒸気)	2.7 mg/L(4h)

#### 酸化チタン

LD50	(経口)	>5000 mg/kg
LD50	(経皮)	>10000 mg/kg
LC50	(吸入／蒸気)	>5.09 mg/L

### 皮膚腐食性／刺激性:

- ・ エチレングリコール : ヒト 刺激性

### 眼に対する重篤な損傷／刺激性:

- ・ エチレングリコール : ラビット 軽微な結膜刺激

### 発がん性:

- ・ 酸化チタン : IARC-Gr.2B
- ・ エチレングリコール : ACGIH-A4

### 特定標的臓器／全身毒性一単回暴露:

- ・ エチレングリコール : 区分1 (中枢神経系、血液系、腎臓)
- ・ エチレングリコール : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)

## 12. 環境影響情報

- ・ 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

- ・ 生態毒性: 情報なし

- ・ 残留性・分解性:

エチレングリコール 急速分解性あり

- ・ 生体蓄積性:

エチレングリコール log Pow=-1.93

- ・ 水生毒性

#### 水生環境有害性(急性毒性):

エチレングリコール 魚類(ヒメダカ) LC50 >100mg/L(96hr)

酸化チタン 甲殻類(オオミジンコ) EL50 >100mg/L(48hr)

#### 水生環境有害性(慢性毒性):

エチレングリコール 甲殻類(ニセネコゼミジンコ) MATC=4.2mg/L(7days)

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか、委託をすること。

### 汚染容器および包装:

- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

## 14. 輸送上の注意

- ・ 容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- ・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

国内規制

国連番号:

- ・該当なし

指針番号:

- ・該当なし

陸上輸送:

- ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送:

- ・船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送:

- ・航空法の定めるところに従うこと。

---

15. 適用法令

労働安全衛生法

57条の2 通知対象物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

---

16. その他の情報

引用文献:

- ・ Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
- ・ Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
- ・ Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
- ・ 2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- ・ 2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- ・ <http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
- ・ JIS Z 7253 (2012年)
- ・ JIS Z 7252 (2014年)
- ・ 2017 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- ・ Supplier's data/information

その他:

- ・ このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の手配を対象としたものです。
- ・ 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・ このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・ このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0. 1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。